

■ルーマニア：風力発電が発電量、全体の25%に

2016年4月18日の報道によると、ルーマニアにおいて4月15日午後2時、風力による発電電力が23.21%（194.1万kW）に達し、一時的とはいえ原子力発電をしのぐ割合を占めた。同国では主に石炭火力（約30%）、水力（約25～30%）、原子力（約20%）が安定的に発電を担っているが、風力発電設備の導入により、風力が200万kWを越す電力需要を賄う日が出現するようになっている。ただし、風力発電の間欠性も問題となっており、2016年4月12日にはわずか4.1万kWまで低下した。